

インタビュー



佐藤咲子さん

くぬぎ台団地自治会
元自治会役員
現在もくぬぎ台団地の住人
49歳 保土ヶ谷区在住

■くぬぎ台団地は、約一千百世帯からなっています。これくらいの数はまとまりやすい世帯数ということもあって、自治会活動が活発です。かねてから様々な活動を行ってききましたけど、阪神大震災を契機に、目下、防災活動にも力を入れています。

■防災の面から、今一つ計画しているのが、避難カードをつくることです。例えば名前や住所、血液型などを記入するカードを各家庭に配り、それを封印しておいて、緊急のときに開けるような形にすることを考えています。

■いざというときに備えて、簡易トイレも自分たちで作りました。必要なときに設置できるように、倉庫に入れてあります。ただ、いろいろ試作は重ねたのですが、まだ満足のいく完成品ではないんです。これから、もっと組み立てやすいものに改良していきたいと思っています。

■自治会活動が活発だといっても、普段は空気みたいなものなんです。でも、何かやるという時になると、ワツと反応が出てくるんです。そういう時の協力度や、まとまりの良さはとても感じますね。

加入している団体 (複数回答)

「横浜市民意識調査」(平成6年度・横浜市)



・加入している組織・団体は「自治会・町内会」(五七・八%)が一位で過半数以上が加入。次いで「趣味のサークル・スポーツ団体」(二五・九%)も四人に一人の割合となっている。

地域活動―社会参加―

インタビュー

高岡美枝子さん(仮名)

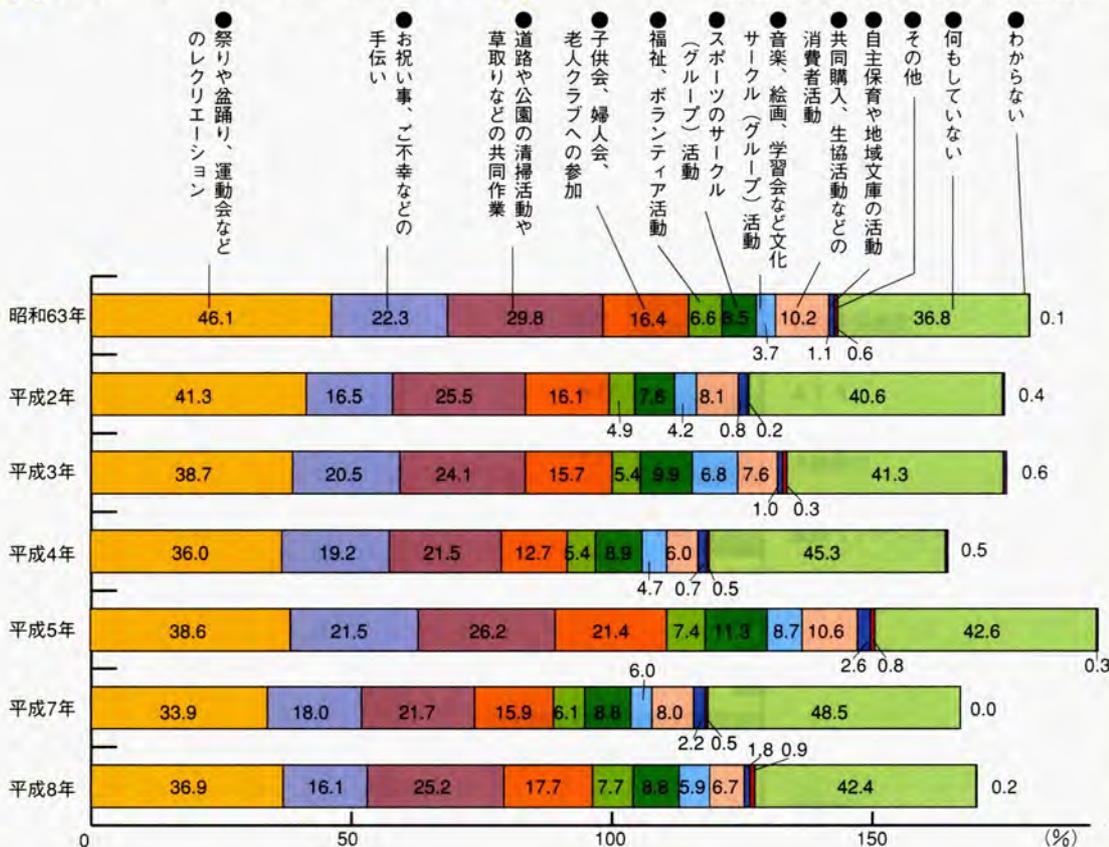
12歳と14歳の娘の母親
 自宅で仕事をこなす
 42歳 磯子区在住

■PTAの役員には、こちらとしては、働いているから役員にならないというのとは違うんじゃないかと思って役員になったつもりです。今の時代、いろんな立場の人がいるわけですから、お互いにそのあたりをもうちょっと考えてあげたらいいんじゃないかと思います。私は、たまたま家で仕事をしていて、ある時間は専業主婦で、ある時間は仕事人という、いろんな立場に微妙に変われる位置にいますので、それぞれのいいところ悪いところが見えるのかも知れません。

■ボランティアをやる女性には、パートで時間を切り売りするよりも、もつと社会に有意義なことをしたい、というような発言をされる人がいらつしやいますね。でも、「働くこと」自体もとても大切なことだと思ふ。理想を言えば、ボランティアをする気力の残るような働き方ができればいいですね。男性は会社で金稼ぎ、女性は地域で奉仕的活動というのでは、いつまで経ってもボランティアは根づかないし、伸びていかないと思います。

行事・活動への参加 (複数回答)

「横浜市民意識調査」(平成8年度・横浜市)



・参加したことがある地域の行事や活動は「祭りや盆踊り、運動会などレクリエーション」が最も多く、「道路や公園の清掃活動や草取りなどの共同作業」や「お祝いごと不幸などのお手伝い」などの義務的な活動、そのほか「子ども会、婦人会、老人クラブ」への参加も根強い。地域で何らかの行事活動へ参加した人は五七・四%。

近所づきあい

由美子へ。横浜へ来て一年が経ちました。早いものです。

昔からの家並みの中で百坪あまりの土地に、三軒の建て売りがあって、その中の一軒なの。隣家とくっついていてるので、初めは大きな声はまる聞こえ、テレビの音もうるさくないかと気を使いました。

「社宅と違って、嫌になっても引越せないのだから、あまり深入りしないように」などと言う友人の忠告もあったけれど、それも取り越し苦労だったと胸をなでおろしています。最初はあいさつ程度だった隣人たちとも、いつしか仲よくなり、庭越しに草花談義に花が咲き、到来物のおすそわけをしたり、釣った魚をもらったり、ケーキを焼いて持っていったりと、いろいろあります。

今では、よき隣人に恵まれて本当にラッキーだったと思っている。お隣りさんだけでなく、趣味のサークルの人が同じ町内だったり、町内会の班長をして知り合いがきたりで、初めは少しよそよそしげだった周囲の家並みが、なんだか親しく思われ始めています。

引越越しのとき、友人の庭から少しづつもらってきた草花が、今では鮮やかに茂っています。すっかりここに根をおろしたのでしよう。

わが家も、この草花と同じように、ここに根をおろしたのだなと、実感しています。一度、遊びに来てください。

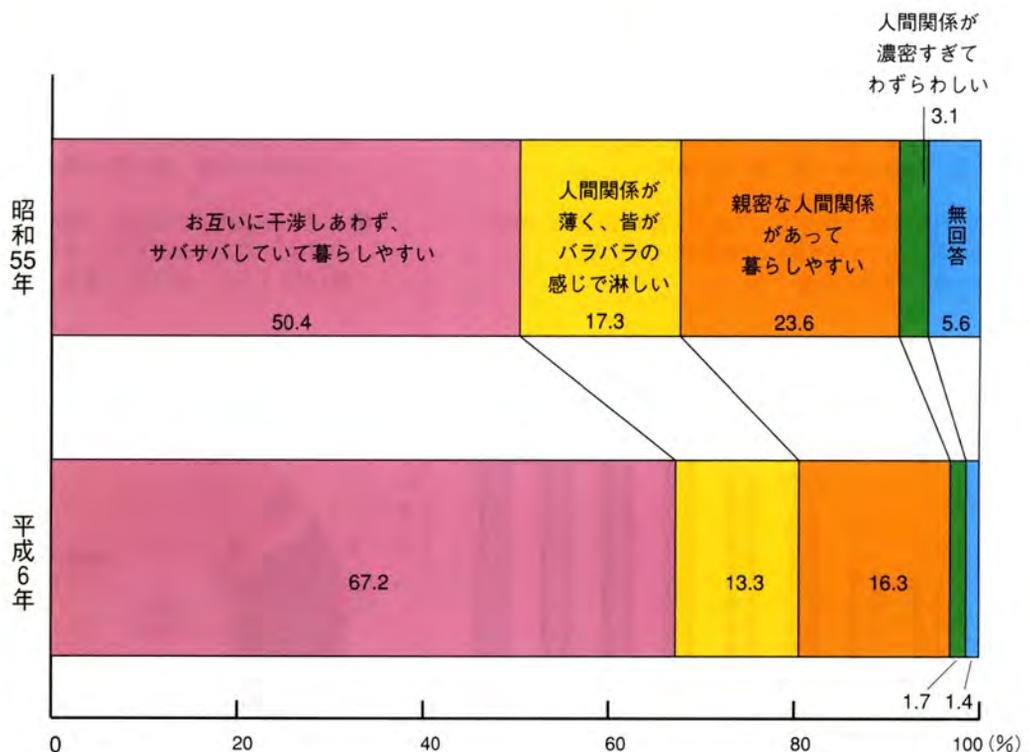
(磯子区 N・Nさん 四十二歳)



住宅・暮らし

近所づきあいの感じ方(昭和55年と平成6年の比較)

〔横浜市民意識調査〕(平成6年度・横浜市)



・「互いに干渉しあわず」もしくは「親密な人間関係がある」ことで「暮らしやすい」と感じる人は九・五ポイント増加。また「バラバラで淋しい」と「親密な人間関係があり暮らしやすい」といった「干渉志向」は一・三ポイント減少し、「サバサバしてよい」と「濃密な関係はわずらわしい」の「不干渉志向」は一五・四ポイントの増加。